学校運営協議会　会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第８条第１項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

１　会 議 名　　関高等学校　学校運営協議会　（第２回）

２　開催日時　　令和６年１１月１２日（火）　１４時００分～１６時４５分

３　開催場所　　関高等学校校長室

４　参 加 者

会　長	大野　正博	朝日大学法学部教授
副 会 長	村井　義史	本校同窓会副会長
委　員	福田　恵介	福田刃物工業株式会社取締役
	平田　久美子	平田建設株式会社取締役
	衣斐　七海	関市産業経済部観光課
	永田　陽一	本校ＰＴＡ会長
学 校 側	武田　理	校長
	関谷　篤	教頭
	植田美智留	教頭
	岸　正美	事務部長
	進　晶彦	教務主任
	杉山　広之	生徒指導主事
	片桐　良子	進路指導主事
	林　直樹	研究推進部長
	戸崎　由希子	特別活動部長

５　会議の概要（協議事項）

スクール・ミッション案について協議、学校評価アンケートの結果説明、各分掌（教務・進路・生徒指導・研究推進・特別活動）に関する活動報告、生徒による探究活動報告プレゼン（２グループ）、授業見学（１，２年総合的探究の時間）、意見交流、質疑応答を実施

【全体を通しての意見・質問】

意見１　関高校はすべてにおいて素晴らしい。学校評価アンケートも問題なし。高校見学のアンケートも良い結果。進路の話の中で、「主体的」という言葉が出てきたが、重要なキーワードである。小論文の準備講座は大切であり、近年、推薦入試や公務員試験でも小論文のウエイトは大きくなってきている。適切な日本語の文章で伝える力が問われている。大学側は正確かつ独自性を持った文章が書けるかどうかを評価している。ヘルメットの着用率はいいと思う。ヘルメットについては、まだ努力義務であるが、ながらスマホやイヤホンなどは違反であるので、指導をしっかり行ってほしい。探究活動については、関高校は進んでいるけれども、ステップアップが必要である。個人が探究する前と探究する後でどれくらい成長しているかが重要である。結果の大小ではなく、生徒個人が経験したことを話せることが大切である。資料作成の際に引用の指導はされているか。発表についてもインターネットの情報の一片をエビデンスとして結論付けた発表があったが、情報元が確かであるか不安である。探究活動の入り口としては良いが、様々なエビデンスを比較検討して事実であるかを深めていくことが大切である。

質問１　（授業見学時の生徒発表について）１年は１人で、２年はグループで発表ということに何か意図はあるのか。

回答　１年は自分で一通り経験してみることを目的に個人発表。２年は世の中ではグループワークなので、協働作業の経験を目的にグループ発表という形態をとっている。

意見２　個人またはグループでの発表の場が授業で位置付けられていることが素晴らしい。また高校見学会では、工業高校等はものつくりなので実演体験が多いが、普通科高校は授業が中心、授業で勝負であり、授業体験ができることは素晴らしい。

質問２　高校見学は独自の取組か。
回答　他校も同じ時期に行っているが、内容については学校独自である。

意見３　昨年も感じたが、同じことを繰り返すのではなく、毎年変わっていく感じがよいと思う。スクールポリシーにリーダーの育成、社会で活躍する生徒の育成とあるが、成功して楽しい体験も必要だが、心が病むような苦しいことが起きた時に耐えられることが大切である。探究活動で失敗してもいいというスタンスの仕掛けはよいと思う。

意見４　スクールミッション案は長すぎて情報が多すぎる。「ひと」がひらがなであるのはなぜか、誰も説明できない言葉は使わない方がよい。学校アンケートについて、「不明」回答が多い設問は設問自体が適切でないのではないか。設問を変えてもいいのではないか。また、社会人の話を聞くことは大事なことで、大学後のビジョンを考える機会を与えることはよいことだと思う。生徒指導では、ヘルメットの着用率について思ったより高いと思った。MS リーダーズで子供どうしの情報が共有できるのはよい。
回答　学校教育目標策定時に「人材」という言葉を避けて、一人の人間としての意味合いで「ひと」とひらがなにした経緯がある。

意見５　DX ハイスクールに指定されたと聞いたが、学校アンケート⑩の ICT の活用に否定が多いのはどうしてか。
回答　DXハイスクールについて、今年度は環境整備中で、来月には関市と美濃加茂市の職員を呼んで、DXハイスクール協議会を行う予定である。活動としてはまだこれからの状況であるため。

意見６　探究発表の授業参観で、生徒の机上を見た時に、評価用紙に〇をつける形のプリントがあった。発表に対するコメント（記述によるコメント）があるとよいと思う。インプットしたことをアウトプットにつなげられるとよい。

意見７　保護者代表として、関高校の学習環境に感謝している。探究などの発表もレベルが高く、年々レベルアップしている。今後もレベルアップを望むが、レベルの高いものだけになってしまうと、これから入ってくる生徒が取り組む時に、自分で課題を見つけ解決していく機会が減ってしまうので、そうした生徒にも配慮しながら探究活動を進めていくことをお願いしたい。

【生徒のプレゼンに関する質疑応答】
質問１　食を提供する上で衛生面についてどんな苦労をしましたか
生徒回答　生肉を焼いたり、生野菜を提供することは避けて、できるだけ素早く出せる安全な物ということで、冷凍食品を選んだ。
質問２　発表は聞きやすくてよかった。トラブルに対して臨機応変に対応したことがあれば答えてください。
生徒回答　20 人くらいしか入れない場所に多くの人が集まり、暑い中、外に並んでもらうことになった。受付表を急遽作成したり、併設のキッチンカーでドリンクを提供することで工夫した。
質問３　子供食堂なので子供が多く集まってくるので、気を付けることはなかったか。
生徒回答　お寺なので、本堂を借りてレクなどをやってはどうかと考えている。
意見４　子供食堂は大変重いテーマで社会的意義を考えて、一回限りで終わらないで継続して活動できるように、その先のビジョンを考えて欲しい。
意見５　子供食堂がある世の中がおかしいのであり、それを不要にしていくためにどうしたらよいか、という問題意識も持ってほしい。

６　会議のまとめ

第２回学校運営協議会では、スクールミッション案について協議し、修正案作成のための助言をいただいた。続いて、前期の各分掌活動報告に対しては率直な意見や質問をいただき、今後の取組みの指針となった。その後、生徒による探究学習プレゼンでは、生徒と委員の皆様の間で活発な質疑応答がなされ、発表生徒にとっても大変有意義な経験となった。また、授業見学においては、生徒の実際の姿をご覧いただく機会となり、日頃の教育活動に対するお褒めの言葉や激励、また今後の改善点等忌憚のないご意見をお聞かせいただき、開かれた学校づくりに向けて意義のある協議会となった。